

瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の管理状況(2018.5.31 時点)

分類	保管場所	保管方法	エリア境界 空間線量率 (mSv/h)	保管量	前回報告比※1 (2018.5.31)	変動※2 理由	エリア 占有率	保管量※3／保管容量 (割合)	トピックス			
瓦礫類	屋外集積 (0.1mSv/h以下)	B	屋外集積	0.01未満	2,800	m ³	0	m ³	—	85 %	177400 / 250700 (71%)	・フランジタンク解体片 2018年4月末時点でコンテナ745基保管。 エリアP1コンテナ数：615基 (2015年6月15日～) エリアAAコンテナ数：130基 (2018年3月15日～)
		C	屋外集積	0.01未満	61,000	m ³	+300	m ³	①②③	96 %		
		F2	屋外集積	0.01未満	6,400	m ³	0	m ³	—	85 %		
		J	屋外集積	0.01	4,300	m ³	0	m ³	—	53 %		
		N	屋外集積	0.01未満	4,500	m ³	0	m ³	—	45 %		
		O	屋外集積	0.01未満	42,300	m ³	+900	m ³	④⑤	82 %		
		P1	屋外集積	0.01	49,500	m ³	+600	m ³	①⑥	77 %		
		U	屋外集積	0.01未満	700	m ³	0	m ³	—	100 %		
	シート養生 (0.1～1mSv/h)	V	屋外集積	0.01	1,600	m ³	0	m ³	—	27 %	37200 / 71000 (52%)	・エリアWでの車両解体（プレス等）完了。(2018年1月)
		AA	屋外集積	0.01未満	4,300	m ³	+800	m ³	①	12 %		
		D	シート養生	0.01未満	2,600	m ³	0	m ³	—	58 %		
		E1	シート養生	0.03	13,600	m ³	0	m ³	—	85 %		
		P2	シート養生	0.01	5,500	m ³	0	m ³	—	61 %		
	覆土式一時保管施設、 仮設保管設備、容器 (1～30mSv/h)	W	シート養生	0.04	7,500	m ³	+600	m ³	①②	26 %	21900 / 31700 (69%)	・主な瓦礫類は、1～3号機工事等で発生した瓦礫類。 ・覆土式4槽の受入開始に伴い、保管容量（4,000m3）増加。 (2018年5月)
		X	シート養生	0.01	7,900	m ³	0	m ³	—	65 %		
		L	覆土式一時保管施設	0.01未満	12,500	m ³	+500	m ³	⑦	78 %		
		A	仮設保管設備	0.20	6,400	m ³	-500	m ³	⑧	91 %		
		E2	容器※4	0.02	300	m ³	0	m ³	—	19 %		
	固体廃棄物貯蔵庫	F1	容器	0.01未満	600	m ³	0	m ³	—	99 %	9000 / 45600 (20%)	・主な瓦礫類は、1～3号機工事等で発生した瓦礫類。 ・固体廃棄物貯蔵庫9棟の運用開始に伴い、保管容量（33,600m3）増加。 (2018年2月)
		Q	容器	0.04	2,000	m ³	0	m ³	—	32 %		
合計（ガレキ）				245,300	m ³	+3,300	m ³	—	62 %			
伐採木	屋外集積 (幹・根・枝・葉)	G	屋外集積	0.01未満	25,200	m ³	0	m ³	—	63 %	96600 / 134000 (72%)	
		H	屋外集積	0.01未満	31,700	m ³	0	m ³	—	74 %		
		M	屋外集積	0.01未満	39,600	m ³	0	m ³	—	88 %		
		V	屋外集積	0.01	100	m ³	0	m ³	—	2 %		
	一時保管槽 (枝・葉)	G	伐採木一時保管槽	0.01未満	26,200	m ³	0	m ³	—	88 %	37300 / 41600 (90%)	
T		伐採木一時保管槽	0.01未満	11,100	m ³	0	m ³	—	94 %			
合計（伐採木）				133,900	m ³	0	m ³	—	76 %			
保護衣	屋外集積	容器	0.04	53,400	m ³	-2,600	m ³	⑨	75 %	53400 / 71200 (75%)	・使用済保護衣等焼却量 4297t（2018年5月末累積） ・焼却灰のドラム缶数 960本（2018年5月末累積）	
合計（使用済保護衣等）				53,400	m ³	-2,600	m ³	—	75 %			

※1 100m³未満を端数処理しており、微増・微減とは100m³未満の増減を示す。

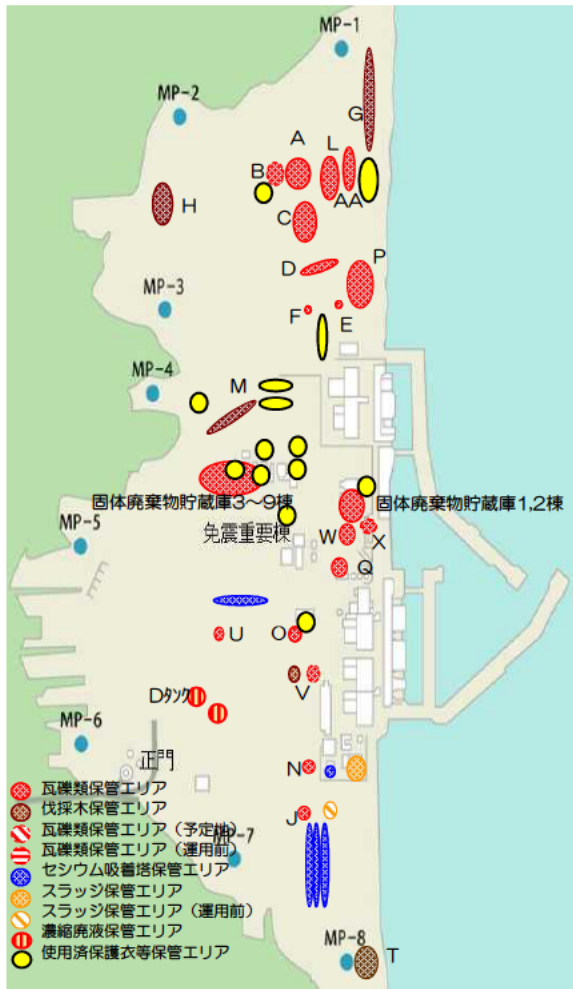
※2 主な変動理由：①タンク関連工事 ②1～4号機建屋周辺瓦礫撤去関連工事 ③一時保管エリアP1から瓦礫の受入 ④構内瓦礫保管 ⑤敷地造成関連工事
⑥瓦礫を一時保管エリアCに移動 ⑦瓦礫保管テントAからの移動 ⑧覆土式一時保管槽(第4槽)への移動 ⑨焼却運転

※3 端数処理で100m³未満を四捨五入しているため、合計値が合わないことがある。

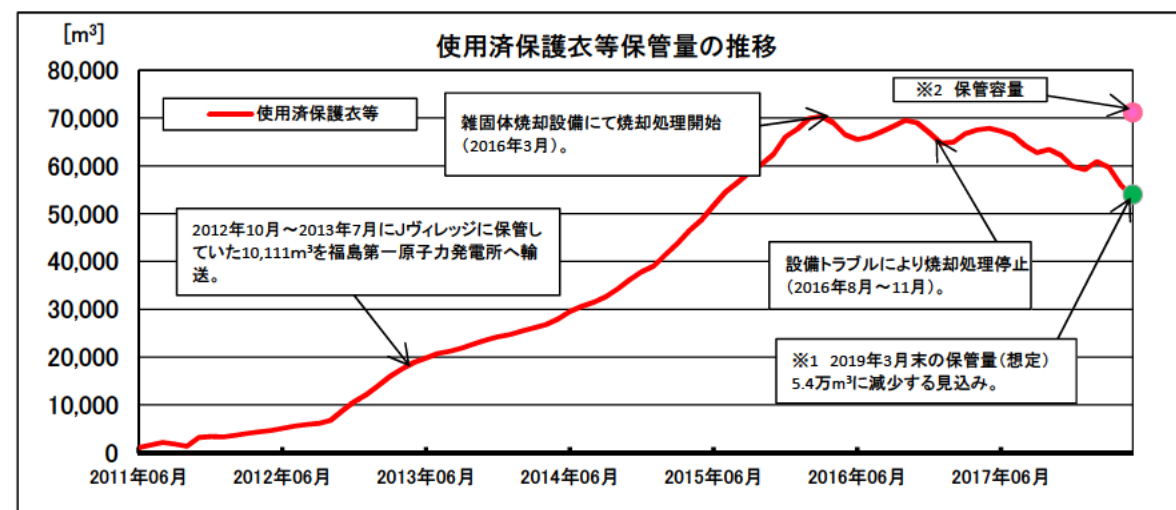
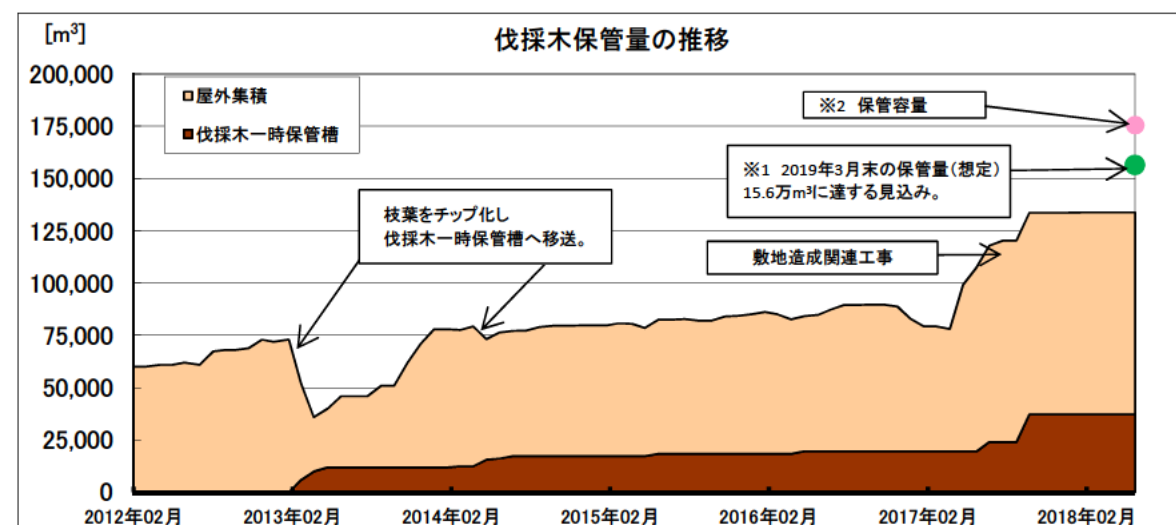
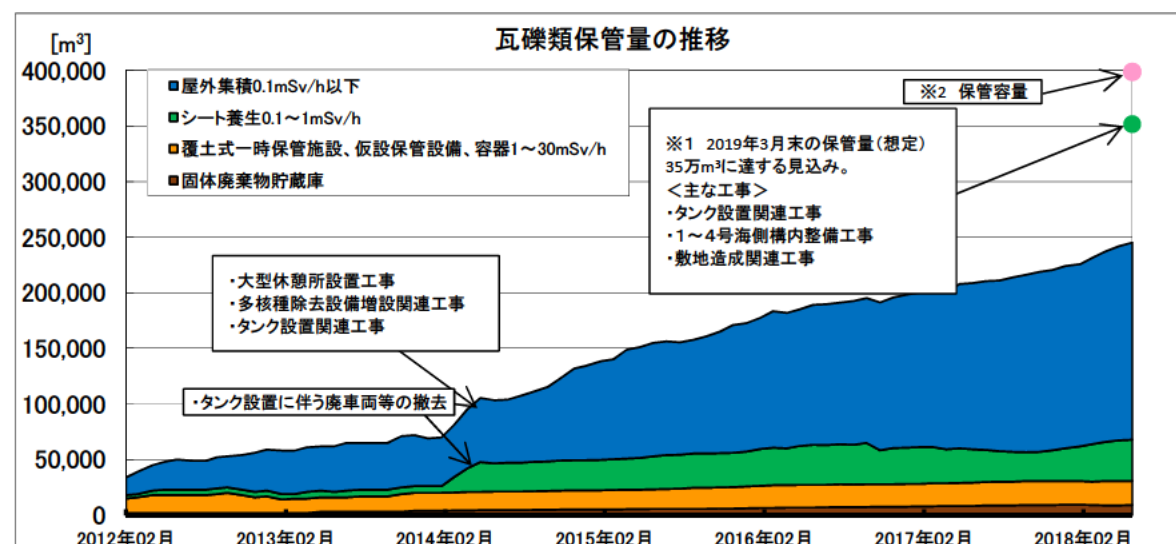
※4 水処理二次廃棄物（小型フィルタ等）を含む。

水処理二次廃棄物の管理状況(2018.5.31時点)

分類	保管場所	種類	保管量		前回報告比 (2018.5.31)		保管量／保管容量 (割合)	トピックス	
水処理二次廃棄物	使用済吸着塔保管施設	セシウム吸着装置使用済ベッセル		767	本	0	本	4006 / 6368 (63%)	・吸着塔一時保管施設の増容量が認可（2015年12月14日） ・使用前検査完了（2017年5月26日）に伴う保管容量増（第四施設架台129塔分）
		第二セシウム吸着装置使用済ベッセル		202	本	+4	本		
		多核種除去設備等保管容器	既設	1,478	基	+8	基		
			増設	1,274	基	+11	基		
		高性能多核種除去設備使用済ベッセル	高性能	74	本	0	本		
		多核種除去設備処理カラム	既設	11	塔	0	塔		
		モバイル式処理装置等使用済ベッセル及びフィルタ類		200	本	0	本		
	廃スラッジ貯蔵施設	廃スラッジ	597	m ³	0	m ³	597 / 700 (85%)	・除染装置の運転計画は無く、新たに廃棄物が増える見込みは無い。 ・準備が整い次第、除染装置の廃止について実施計画の変更申請を行う。	
	濃縮廃液タンク	濃縮廃液	9,376	m ³	+12	m ³	9376 / 10700 (88%)	・タンク水位の変動は、計器精度±1%の誤差範囲内。（現場パトロール異常なし） ・水位計0%以上の保管量：9276 [㎡] タンク底部～水位計の保管量(DS)：約100[㎡]	



瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の管理状況(2018.5.31 時点)



※1 瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の保管量(想定)は、実施計画(2018年3月26日認可)の予測値を示す。
 ※2 瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の保管容量は、運用上の上限を示す。

水処理二次廃棄物の管理状況(2018.5.31時点)

